

第2回 構造・材質等専門部会議事要旨

日時：平成26年7月17日（木） 午後1時～午後5時30分

会場：牧之原市役所相良庁舎 3階会議室

1. 開会の挨拶

(事務局)

・メーカーによるプレゼンテーションの順番は、事前のくじ引きにより順番を決定しました。

2. 議事

(1) 前回の振り返りと本日の審議内容について

(事務局)

前回の振り返りと本日の審議内容の説明

(委員から事務局への質問)

・ライフサイクルコストはどの時点で逆転するのか？

→事務局での試算の場合、法定対応年数内で逆転しました。ただし、一つのケースとして考えてほしい。

・ライフサイクルコストの根拠は？

→見積を参考にしました。この後の企業によるプレゼンテーションでその内容が説明されると思うので、あくまで参考としていただきたい。

(2) 配水池メーカーによるプレゼンテーション

①1 社目プレゼンテーション（鋼材メーカー）

(委員からメーカーへの質問)

・矩形の実績について

・外面の洗浄について

・配水池が空水時の温度応力による影響について

・材質によるイニシャルコストについて

・鋼材パネルの搬入方法について

・地盤の想定について

・レベル2地震動に対する耐性について

・必要地耐力とスロッシングへの対応について

②2 社目プレゼンテーション（コンクリートメーカー）

(委員からメーカーへの質問)

・プレキャストではなく現場打ちを提案した理由について

- ・地震の際の慣性力について
- ・コンクリートかぶりの厚さについて
- ・重量に対する必要地耐力について
- ・コンクリートのスランプについて
- ・防音について
- ・清掃の必要性について
- ・水密性について
- ・スロッシングへの対応数値の根拠について
- ・想定を超えたスロッシングへの対応について

③3 社目プレゼンテーション（コンクリートメーカー）

（委員からメーカーへの質問）

- ・プレキャストか現場打ちのどちらを採用したのか
- ・採用工法のメリット、デメリットについて
- ・東日本大震災の際の破損について
- ・現場打ちコンクリートのひび割れ対策について
- ・コンクリートのスランプについて
- ・水平震度の想定について
- ・ドームの厚さについて
- ・塩素ガスによる劣化について
- ・トータルコストの考え方について
- ・ドームの塗装について

④4 社目プレゼンテーション（鋼材メーカー）

（委員からメーカーへの質問）

- ・提案された応急給水拠点の建設費用について
- ・材質による建設コスト差について
- ・底版の材質について
- ・座屈について
- ・衝撃への耐性について
- ・外面塗装について
- ・設計震度について
- ・溶接部の検査について
- ・ライフサイクルコストの内訳について
- ・溶接部の検査実施機関について
- ・温度応力について

(3) 新配水池の構造材質等の方向性について審議

- ・ライフサイクルコストについて
- ・衛生的なイメージについて
- ・内面防食塗装無しの保障について
- ・メンテナンスについて
- ・塩害に対する信頼性について
- ・現場の状況や施工能力について
- ・かぶり厚の安全性の実証について
- ・経年劣化について
- ・溶接管理について（特記仕様書等に明記する）

(4) 新配水池の構造材質等の方針

構造・材質等専門部会の審議結果として、今回の牧之原市の新配水池に適すると考えられる材質は、ステンレス製、構造は円筒2池が好ましい。

以上